

平成 21 年 9 月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

9 月 30 日にサモア諸島で Mw7.9 (Mw は気象庁 CMT 解によるモーメントマグニチュード) の地震が発生し、この地震により伊豆・小笠原諸島、北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県で津波を観測しました。

全国で震度 1 以上を観測した地震の回数は 131 回、日本及びその周辺における M4.0 以上の地震の回数は 78 回でした。

国土地理院の GPS 観測結果では、全国の地殻変動について特に目立った変動は見られません。

震度 3 以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙 1 のとおりです。また、世界の主な地震は別紙 2 のとおりです。

○ [火山活動]

桜島の昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生しました。また、南岳山頂火口では 10 月 3 日に爆発的噴火があり、噴煙が火口縁上 3,000m まで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 4 合目まで達しました。

引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から 2km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

口永良部島では、27 日から火山性地震が増加したことから、火山活動が高まっていると判断し、同日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

浅間山では、火山性地震がやや多い状態で推移しています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙 3 のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙 4 のとおりです。

注 1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注 2：国土地理院の GPS による地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成 21 年 9 月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2009-goudou1007.html>

注 3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注 4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成 21 年 9 月号(平成 21 年 10 月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注 5：平成 21 年 10 月の地震活動及び火山活動については、平成 21 年 11 月 9 日に発表の予定です。